

熱耐性細菌由来のグルタミン酸脱水素酵素、組換え型

Cat. No. NATE-1701

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明

GDHは、炭素と窒素の代謝に関連する酸化還元酵素です。これは、 α -ケトグルタル酸とアンモニアをL-グルタミン酸に還元し、その逆も行います。この酵素は、研究用途や診断および食品産業における産業用途において、堅牢で理想的な候補です。

別名

グルタミン酸脱水素酵素; グルタミン酸脱水素酵素; グルタミン酸脱水素酵素 (NAD+); グルタミン酸化還元酵素; グルタミン酸脱水素酵素; L-グルタミン酸脱水素酵素; NAD+-依存性グルタミン酸脱水素酵素; NAD+-依存性グルタミン酸脱水素酵素; NAD+-グルタミン酸脱水素酵素; NAD+-連続グルタミン酸脱水素酵素; NAD+-連続グルタミン酸脱水素酵素; NAD+-特異的グルタミン酸脱水素酵素; NAD+-特異的グルタミン酸脱水素酵素; NAD+: グルタミン酸酸化還元酵素; NADH-連続グルタミン酸脱水素酵素; GLDH; EC 1.4.1.2

製品情報

種

好熱性細菌

由来

E. coli

形態

凍結乾燥粉末

EC番号

EC 1.4.1.2

CAS登録番号

9001-46-1

分子量

270 kDa; Homohexameric (45 kDa per subunit)

活性

> 90 U/mg タンパク質

濃度

タンパク質濃度: > 13% (w/w)

pH安定性

7-8.5

最適pH

8

熱安定性

20-70°C、50°Cで8時間以上85%の活性を維持します。

最適温度

50°C

単位定義

1ユニットは、50°C、pH 8.0で1分間に1 μ molの α -ケトグルタル酸をグルタミン酸に置換することとして定義されます。

保管・発送情報

保存方法

-20 °Cで